



学校長ご挨拶



学校長 山本 一郎

情報端末機器と うまく付き合う

姫路市医師会看護専門学校の在校生の皆さん、そしてご父兄及び卒業生の皆さま、令和2年6月より前任の清水学校長を引継ぎました。新型コロナウイルス感染症拡大という前例のない課題に、本校で学んだ1000名以上の卒業生が医療現場で患者の命を守り、心の支えになっています。現在の在校生、また今後入学してくる新入生に新たな期待をするとともに、現場で活躍する卒業生に感謝と誇りを感じています。

今回の「コロナ禍」の中で、学内授業や臨床実習が例年どおりにはできなくなっています。実習施設や非常勤講師の先生方には、多方面でご協力いただいたことに感謝いたします。またこうした中で本校では、令和3年度入学生からiPadを使った教科書に変更予定であり、インターネットを取り入れた授業を行うための校内Wi-Fi環境を構築中です。来年入学予定希望者の学校見学会などでも、こうした取り組みへ興味を持った学生も多いと聞きました。

PCや各自が携帯するスマートフォンなどの情報端末機器は、検索などの情報収集から情報発信のツールになりました。そして情報端末のマッチングアプリは、これまで婚活など人と人とを結びつける事に利用されてきました。そして現在、マッチングアプリは飲食店や生産農家や漁業関係者など様々なサービス提供者とそれを必要とする方とを結び付けています。こうした機器の利用は、今後多くの医療や介護の現場にも利用されてくると予想されます。次世代の医療・看護・介護を支える本校生徒が、ルールに沿った上手な利用方法の上にのびのびと学べるICT環境づくりが大切と考えています。

学 校 行 事 の 記 録

令和2年度 オープンキャンパス & 学校見学会

8月11日（火）、12日（水）、13日（木）にオープンキャンパスを開催しました。

3日間を通して206名の方にご参加いただきました。ソーシャルディスタンスや換気、飛沫予防に細心の注意を払いつつ、学校の魅力を受験生の方々に知っていただくため、模擬授業の体験、看護技術の実演の見学、在校生が参加者の質問に答える相談会などを実施しました。

新型コロナウイルスの影響により“見学”がメインのオープンキャンパスとなりましたが、多数の参加者の方が、「進学意欲が湧いた」「看護学校の学習内容がイメージできた」という反応を示されました。相談会については、「丁寧に答えてもらってわかりやすかった」「聞きたいことがしっかり聞けた」「親身になってもらって話しやすかった」などのご感想をいただき、参加者の皆様に満足していただける結果となりました。



模擬授業「生まれたら、心臓が変身?!



聴診実演の見学



足浴実演の見学

◆オープンキャンパス プログラム◆

- ◎カリキュラムの概要説明
- ◎2021年度入試概要説明
- ◎演習風景視聴
- ◎模擬授業
 - 11日（火）
「筋肉注射にチャレンジ」
 - 12日（水）
「生まれたら、心臓が変身?!
- 13日（木）
「感染の輪を断つ！」
- ◎体験学習（看護体験）・施設見学
 - ・聴診実演の見学
 - ・足浴実演の見学
 - ・施設見学
- ◎相談会



学校見学会は、例年6月と9月の年2回（どちらも土曜日）に開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を受け、9月のみの実施となりました。

9月5日（土）に実施した見学会には15名の方が参加されました。本校教員によるミニ模擬授業の体験、在校生による看護技術実演風景の見学、施設内の見学などを行いました。参加者からは「受験したい」、学校見学会の内容に「満足した」との感想が多数ありました。

現場を見て直接話を聞いていただくことで、不安や疑問が解消され、学校生活もイメージしやすくなります。看護師志望の方がおられましたら、来年度、是非ご参加ください。



学生によるキャンパスライフ紹介

第16回 天姫祭 「Power Of Smile ～人とのつながりと笑顔～」



10月23日（金）に天姫祭を開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響で、文化祭を開催するか、中止するか議論がありましたが、外部の方をお招きせず、感染予防対策を万全に講じた上で、学生・教職員のみで行うことになりました。

今回の天姫祭のテーマ「Power Of Smile～人とのつながりと笑顔～」には、“コロナにより人とかわる時間が減り、人とのつながりの大切さを再認識することができた。人と人との距離を保ちながら、学校に笑顔の輪を広められるような文化祭にしたい。”という思いが込められました。

当日学生たちは、各教室や視聴覚室、体育館に分散して、発表動画やパワーポイントを視聴したり、校内放送を利用した案内や交流会を行い、3密を避ける工夫をしました。ダンスや歌唱、手話などの動画による発表、クイズ形式のビンゴゲーム、後輩の質問に3年次がラジオ番組風に答える交流会、エイズに関する学習動画、令和2年7月豪雨災害被災地への募金活動など、学生たちは試行錯誤しながらも、力を合わせて取り組みました。

例年とは異なる実施方法となりましたが、学生・教職員共に知恵を出し合い、笑顔の輪が広がる文化祭となりました。

一部、外部の方にもご参加いただき、献血の実施、骨髄バンクへの登録、ひまわりパンの販売も実施しました。ご協力いただいた皆様方、ありがとうございました。

第16回天姫祭は、新型コロナウイルスの影響で学内のみの開催となりました。初めての試みで、苦戦し悩むことが多かったですが、学生と教員で知恵を出し合い話し合うことで、無事終わることができました。今回の天姫祭のテーマである『人とのつながりと笑顔』のように校内に笑顔が溢れる時間を過ごすことができました。

終了してから楽しかったという言葉が聞くことができ、実行委員長としてやりがいを感じ、みんなで協力して行うことで1つのことをやり遂げる大切さを実感する機会となりました。

学 業 の 記 録

関西看護学生研究大会

今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインによる Web 配信で関西看護学生研究大会が開催されました。3 年次の藤井玲奈さんが作成したパワーポイントと音声記録による発表を含め、各学校の発表が配信され、2 年次 82 名が視聴しました。

▶ 発表テーマ 転倒リスク状態にある右踵骨骨折患者の看護 個別性を尊重した関わり

看護研究では、基礎看護学実習Ⅱで実践した看護や学びを振り返り、自分自身の看護観を考えるきっかけになりました。実施した看護は患者さんにとって良い看護だったのか、文献を用いて振り返ることで改めて考え学びを深めることができました。これから看護師として働くと、多くの患者さんと出会い、看護を提供していきます。患者さんにとってより良い看護ができる看護師になれるよう、この経験を活かして頑張ります。

3 年次 藤井 玲奈

実習を振り返って

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で基礎看護学実習Ⅰが校内実習となりました。初めての实習で少し緊張しましたが授業で学んだ事を活かして取り組むことができました。患者さんの身の周りの環境を整えるためにどのような援助を行えば良いのか悩む事もありましたが、根拠を考えながら行動することが出来ました。病室は患者さんの生活の場であるので、快適に過ごせるように、患者さんのことを第一に考え援助することを心がけました。今回経験した事をこれからの実習に活かしていこうと思います。

1 年次 牛房 夢

基礎看護学実習Ⅱでは、2 名の患者さんを受け持たせて頂き、それぞれの患者さんに合わせた看護計画の立案・実施を学びました。同じ方法で援助を実施するのではなく、患者さんの病態や症状、性格などに合わせて援助方法を考え、一人一人に合わせた個別性の看護を行うことが大切だと思いました。また、立案した計画もその日の患者さんの状態に合わせて修正を行い、安全に配慮して行うことが重要だと実感しました。今回の基礎看護学実習で学んだことを今後の領域実習に活かし、頑張っていきたいです。

2 年次 小林 青莉

領域実習で印象に残っていることは、患者さん自身の“こうありたい”という思いを看護目標に反映させることが大切だということです。看護者と患者さん自身の方向性を一致させた上で援助することで、患者さんの言動にも変化がみられ、より良い看護に繋がることを実感しました。

実習での学びを大切に、患者さんに寄り添う看護を提供できるよう患者さんの思いに耳を傾け、これからも患者さんに向き合っていきたいです。

3 年次 室田 麻衣

セミナー、研修会開催のご報告

看護力アップセミナーを開催しました。

平成 27 年度より始まった本セミナーは、現役看護師の方のスキルアップ、休職中の看護師の方の職場復帰、看護学生の国家試験合格を目指した学外研修を目的として開催しており、毎回ご好評いただいております。

今年度は「医療安全」をテーマに、第 1 期（7 月 4 日、11 日、18 日）、第 2 期（11 月 28 日、12 月 5 日、12 日）の全 2 期のセミナーを開催しました。

第 1 期は、医療安全に関する制度的な基礎知識や事故発生のメカニズム、安全対策を中心とした内容で、34 名の方が参加されました。参加者からは「医療安全の基本を学ぶことができた」「事故が何故起こるのか、安全対策、ヒューマンエラーについて学ぶことができ、現場に生かすことができる」「誰が行ってもエラーが起こらない環境作りを考えていきたい」などのご感想をいただきました。

第 2 期は感染予防について、感染症の歴史や治療、手指衛生や防護具などの標準予防策、新型コロナウイルス感染症への対応なども交えて解説していただきました。25 名の方が参加され、「自分自身や他の人を守るために標準予防策を徹底し、生活していこうと思った」「コロナ病棟では



どのような看護が行われているか知ることができた」などのご感想をいただきました。

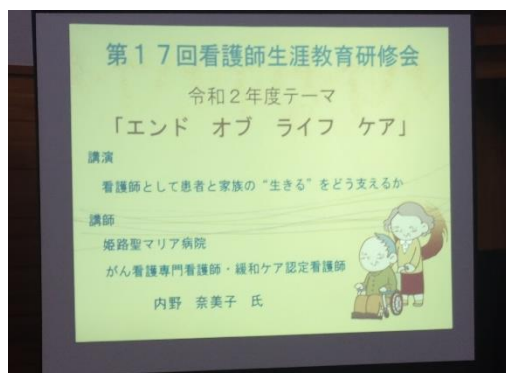
ブラックライトを使用した手洗い実習では、意外に洗い残しがあったこと、衣服を手で触ったことによる付着物があったことを目で見確認できたことにより、感染予防意識が高まった方が多かったようです。

第 17 回 看護師生涯教育研修会を開催しました。

6 月 27 日（土）、第 17 回看護師生涯教育研修会を本校で開催いたしました。

今回は、超高齢社会と多死社会を迎え「エンド オブ ライフ ケア」をテーマに「看護師として患者と家族の“生きる”をどう支えるか」について、姫路聖マリア病院 がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師の内野奈美子氏よりお話いただきました。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、77 名の方にご参加いただき、「看護は生きることに対してだけでなく、死に対する尊重も大切です」「死生観を考えまとめます」「死と向き合う機会は少ないですが、どのように接すれば良いか理解できました」などのご感想をいただきました。



第 18 回 看護師生涯教育研修会のご案内

今年度は「エンド オブ ライフ ケア」を年度テーマとして研修会を開催しております。
卒業生の皆様にはこの研修会が同窓生との交流の場としても利用していただけたらと考えております。是非ご参加ください。

【テーマ】「がん患者のこころのケアー患者とのコミュニケーションのとり方」

講師：宝塚市立病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー 沼野 尚美 氏

【日時】令和 3 年 2 月 27 日（土） 午後 2 時 30 分～4 時 30 分

【場所】姫路市医師会看護専門学校 体育館兼講堂

【お申込】本校ホームページの申込フォームより送信、または同封チラシ裏面申込書を FAX でお送りください。

【お問い合わせ】電話：079-298-1241 FAX：079-298-6876

先生にインタビュー 「教えて！お家時間の過ごし方＆健康法」

コロナ禍が続いている中、おうち時間も慣れてきましたね。私の家には 10 歳の猫が 2 匹います。ノラの三毛猫から生まれた兄弟です。猫も 10 歳ともなると、人間の言葉や行動は読み取れるようになり、私の感情なんてぜーんぶわかっているようです。そんな猫 2 匹に「今日はお休みですニャー」「かまって～」と言われながら、読みたい本と読まないといけな本の世界に迷い込み、週末のおうち時間を過ごしています。感染対策を確実にして、コロナが早く収束することを願うばかりです。自分の置かれている環境を充実したものにしていきたいと思います。

教員 有江 千尋

私の健康法は、フットマッサージです。人の手でマッサージしてもらうことが一番の快感ですが、足つぼマッサージの板を自分で踏むことやカッサ板を使ったマッサージもとても気持ちいいです。足つぼを押すと、体の不調の部分が明確に分かり、そこを根気よくマッサージすると血液やリンパ液の流れが良くなり柔らかくなります。気持ちいいと同時に肩こりや便秘が解消し体調が良くなります。自分でするよりも人にしてもらう快感から人に伝え、今は、家族を巻き込みながらやっています。

教員 日和 麻貴

編集後記

自分にもできることは、マスク、消毒、3 密の回避。コロナ禍の終息が一日も早く訪れることを祈るばかりです。2021 年が明るい年になりますように！今回も皆様のご協力の下、無事「HIMEKAN」を発行することができました。皆様、ありがとうございました。

卒業生の皆様へ

住所やお名前に変更があった場合、本校までお知らせください。本校ホームページの「卒業生」の表示をクリックし、「お問い合わせ・住所変更にもなう届け出について」より、入力・送信してもらうだけで簡単に届け出ができます。学校に来られた際、学校事務課への申し出により届け出することも可能です。

掲載記事募集

この「HIMEKAN」に掲載する記事を募集しています。卒業生のみなさんにお知らせしたいこと、伝えたいこと、がんばっていること等なんでもかまいません。様式は問いません。掲載内容と名前、住所、連絡先を記入して、学校まで送付してください。もちろん、持ち込みも OK です。



●●発刊元●●

姫路市医師会看護専門学校
学校事務課

〒670-0074

姫路市御立西五丁目 6 番 22 号

Tel 079-298-1241 (代)

Fax 079-298-6876

ホームページ <http://himeji-kango.jp>